

見学会のご案内

石油技術協会

平成 27 年度の見学会を下記の要領により行いますので、多数ご参加ください。
2 コースとなっておりますので、申し込みの際は間違いないようお願いいたします。

記

期 日：平成 27 年 6 月 12 日（金）

定 員：A コース先着順 40 名程度（大型観光バス）

B コース先着順 36 名程度（大型観光バス）

締切期日：6 月 4 日（木）

参 加 費：両コース共：一般 3,000 円，学生 1,000 円

原則、見学会前日までに会場受付にて確認の上お支払いください。

申し込み方法：以下を明記し、石油技術協会事務局宛に e メールにてお申し込みください。

・参加者氏名（ふりがな）、生年月日（保険手続きに必要となります）

・所属団体・部署

・携帯電話番号または携帯メールアドレス（当日連絡用）

・A コースご希望の方は、乗車場所（鍛冶橋駐車場または茨城大学正門前）

※当日の集合場所などの案内を含んだ事務局からの返信メールにより参加受付が確認いただけます。申し込み後、数日経過しても返信メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。

① A コース見学会：「常磐地域南部の新生界：メタン冷湧水炭酸塩コンクリーションと石城層の石炭層」集合
時間・場所：8:00 JR 東京駅・鍛冶橋駐車場（JR 東京駅八重洲南口徒歩 5 分）

または 9:30 茨城大学正門前

行 程：8:00 JR 東京駅～ 9:30 茨城大学～

11:00～12:00 北茨城市五浦海岸大五浦（中新統高久層群九面（ここづら）層）～

12:00～13:00 茨城大学五浦美術文化研究所六角堂（昼食含む）～

13:15～14:00 長浜海岸九ノ崎～

14:30～16:00 北茨城市十石トンネル上～

17:30 茨城大学～ 19:00 JR 東京駅

見学内容：茨城県北部の太平洋岸沿いには、常磐（沖）前弧堆積盆西縁の古第三系始新統～新第三系鮮新統が分布します。北茨城市五浦海岸には、明治期に活躍した美術家岡倉天心由来の六角堂が、メタン冷湧水起源の炭酸塩コンクリーションの岩礁岩盤上に建っており（東日本大震災の津波で流出後再建）、茨城県北ジオパークのジオサイトの 1 つとなっています。今回の巡検では、

(1) 五浦海岸付近の新第三系の層序・堆積相、国内最大規模の炭酸塩コンクリーション密集層・化学合成群集の産状

(2) 北側の長浜海岸における、多賀層群基底の海底チャネル群の構造と分布

(3) 十石トンネル上の白水層群石城層の石炭層とのその上下の堆積相変化

などについて観察します。また、海岸地形と東日本大震災津波災害についても概観する予定です。

案 内 人：安藤寿男先生（茨城大学理学部教授）

服装について：・水に濡れても汚れてもよく、滑りにくい靴（ハイヒール、革靴、サンダル禁止）。

・汚れてもかまわない長袖・長ズボン。

・雨天に備えカッパや折たたみ傘をご用意ください。

昼食について：各自でお弁当等をご持参ください。

② B コース見学会：「JAMSTEC 横須賀と Schlumberger 社ラボ見学」

集合時間・場所：9:30 JR 横浜駅

行 程： 9:30 JR 横浜駅～

10:30～12:00 JAMSTEC 横須賀本部～

13:00～14:20 JAXA 相模原キャンパスにて昼食

14:30～16:30 Schlumberger 淵野辺ラボ～

17:00 JR 淵野辺駅，小田急小田原線町田駅周辺にて解散

見学内容：日々進化する石油開発関連技術の中で，日本発の研究開発を進める2つの施設を見学します。午前中は，シンポジウムテーマである海洋開発とのつながりも深く，海洋科学技術の水準向上のための研究機関である(独)海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の横須賀本部にて，高圧実験水槽棟・船舶・潜水調査船などを見学します。午後は，近年技術革新著しい評価技術分野の代表的な会社である Schlumberger 社を訪れ，ソニックツールや LWD ツールのショップを見学します。

服装について：スカート・ハイヒール類はご遠慮願います。午後のラボツアーは保護具（ラボコートもしくはセパレートの上着，防護メガネ，防護靴，長ズボン）が必須です。学生で保護具の準備ができない方は上着サイズ（S, M, L, LL のいずれか），靴サイズ（cm）を明記の上，事務局までお問い合わせ下さい。

昼食について：各自でお弁当等をご持参ください。

お問い合わせ先：石油技術協会 事務局

TEL：03-3214-1701 FAX：03-3214-1703

e-mail：office@japt.org

以上